

## ■8月24日

## 全日空、ボーイング787、深夜貨物便で羽田—佐賀線へ投入

全日空は23日、現在ボーイング767-300F型貨物機で運航している佐賀空港への深夜貨物便に、ボーイング787-8を2014年2月4日から投入すると発表した。また現在、関空—羽田—佐賀—関西という運航ルートから、羽田—佐賀の深夜便での往復へ変更する。ボーイング787の佐賀への就航は初めて。

同社によると、この羽田からの深夜往復便で、佐賀県および近隣県からの首都圏向け国内貨物および羽田・成田での国際線接続による新規需要の取り込みを図り、ANA CARGOの利便性向上を目指す。

一方、羽田—佐賀路線にボーイング787型旅客機を投入することで捻出されたボーイング767-300F型貨物機1機を、沖縄ハブや貨物便ネットワークに活用することで、アジア域内の流動の取り込みを強化するという。

Aviationwireによると、ボーイング 787の貨物便は、羽田を午前1時ごろ出発し、佐賀へは午前2時半ごろ到着。午前3時半ごろ佐賀を出発して、午前5時ごろ羽田へ戻る。また、767-300Fが新たに就航する沖縄ハブの路線は、今後需要を精査した上で決定する。

(ANAプレスリリース)8/23

[http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0709/13-094.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-094.html) (-> [http://www.ana.co.jp/pr/13\\_0709/13-094.html](http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-094.html))

(aviationwire)8/23

<http://www.aviationwire.jp/archives/25059> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/25059>)

## エアアジアX(LCC)、日本路線拡大、主要都市1年以内に乗り入れ、5年以内に3都市へ就航

マレーシアの格安航空会社(LCC)の中長距離部門「エアアジアX」のアズラン・オスマンラニCEOが23日、都内で会見を開き、1年以内に日本の主要都市とクアラルンプールを結ぶ新路線を開通すると発表した。まず名古屋、札幌、福岡のいずれか1都市に就航し、5年以内に3都市すべてに路線を開通する。

加えて、それ以外にも、日本からタイやインドネシアといった東南アジアを結ぶネットワークも拡大する。羽田空港は発着枠の制限が厳しく、首都圏の拠点は成田空港になる見通し。オスマンラニCEOによると、昼間に乗り入れる方向で成田空港とは協議が進んでいるといい、成田-バンコク線という具体的な路線名を挙げた。

一方、ANAホールディングスとの提携解消に伴い、国内線などを運航していたエアアジア・ジャパンがグループから外れたことを受け、オスマンラニCEOは「近距離路線(国内線)と中・長距離路線(国際線)を同じグループが持つことは重要だ」と話し、日本の国内線への再参入にも含みを持たせた。

(日経)8/23

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD230FZ\\_T20C13A8TJ0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD230FZ_T20C13A8TJ0000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD230FZ\\_T20C13A8TJ0000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD230FZ_T20C13A8TJ0000/))

(JCASTニュース)8/23

<http://www.j-cast.com/2013/08/23182090.html?p=all> (-> <http://www.j-cast.com/2013/08/23182090.html?p=all>)

## FDA、客室乗務員・地上スタッフの制服一新

フジドリームエアラインズは23日、客室乗務員と旅客スタッフの制服を一新することを発表した。導入時期は、今秋から始まる冬季ダイヤの期間中。

同社は、2009年7月の新規就航から丸4年となり、機内の新たな雰囲気づくりをと、1年前から社内に女性を中心としたプロジェクトチームをつくり、検討を重ねてきた。

新しい制服は「誠実」「洗練」を表すネイビーブルーを基調とし、コーポレートカラーの赤をアクセントにしたデザイン。スカーフはFDAの特徴であるマルチカラーの機体をデザインマルチカラーを取り入れた。

(読売新聞)8/24

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aichi/news/20130823-OYT8T01118.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/aichi/news/20130823-OYT8T01118.htm>)

(FDAプレスリリース)8/24

[http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130823\\_2.pdf](http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130823_2.pdf) (-> [http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130823\\_2.pdf](http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130823_2.pdf))

## HAC再建問題、高橋知事と日航会長、トップ会談へ

(日経によると)

北海道エアシステム(HAC)の経営再建問題で、高橋はるみ知事と日本航空の大西賢会長が近く会談することが日航関係者らの話でわかった。道庁は日航にHACの再子会社化を要請するため水面下で調整を進め、「議論の最初のステップ」としてトップ会談が実現した。再子会社化を念頭に、HAC経営のあり方について意見交換するとみられる。

自社の経営再建にメドを付けた日航側が交渉のテーブルにつくことで、道庁が検討してきた日航のHAC再子会社化に向けて一歩、前進した形となる。

ただ、HACは赤字経営のイメージが根強く、日航の社内でも「今の状況ですぐに受けるのは難しい」との懸念があるとみられる。道庁側も道内のHAC出資者らへの説得などのプロセスが不可欠で、最終的な結論が出るまでには時間がかかりそうだ。

(日経)8/24

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2300B\\_T20C13A8L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2300B_T20C13A8L41000/) (-> [http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2300B\\_T20C13A8L41000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC2300B_T20C13A8L41000/))

## アモイ航空、ボーイング787型機、6機を購入契約

中国のアモイ航空は、ボーイング787型機6機を、表示価格12億7000万ドルで購入する契約に最終調印した。2014年には、米国・欧州の長距離航路運行が可能となる。

ロイターによると、同社の親会社である中国南方航空は、2011年5月に787型機6機を購入する同意書に調印したと発表したが、実際の契約は政府の認可待ちとなっていた。関係筋によると、今週になって認可が下りた。

廈門航空のスポークスマンは「われわれは、発注を確認した。第1機は2014年7月25日の引渡しを予定している」と述べた。

(ロイター)8/23

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0GO1OW20130823> (-> <http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0GO1OW20130823>)

## スパイスジェット(LCC)、アラブ首長国連邦へ直行便開設

インドのLCC、スパイスジェットはブネーからアラブ首長国連邦を構成する首長国の一つ、シャールジャへの直行便を9月21日から開始するとエコノミック・タイムズ紙が報じた。

現在スパイスジェットは中東への便を増やしており、ドバイやオマーンへも直行便を運航している他、中国広州などにも路線を拡大している。

使用機材は、ボーイング737-800の189席。

(レスポンス)8/24

<http://response.jp/article/2013/08/23/204817.html> (-> <http://response.jp/article/2013/08/23/204817.html>)

## エアアジア(LCC)フェルナンデスCEO、単独日本再進出を計画、成田空港拠点とせず

アジア最大の格安航空会社(LCC)エアアジアが、単独で日本に再進出を計画していることが23日わかった。同社グループのトニー・フェルナンデス最高経営責任者(CEO)が朝日新聞などのインタビューで明らかにした。

エアアジアは、ANAグループと合併で「[エアアジア](http://www.asahi.com/topics/word/%E3%82%A8%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2.html) (->

<http://www.asahi.com/topics/word/%E3%82%A8%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2.html>)・ジャパン」を設立。成田空港を拠点に昨年8月就航したが、業績不振や経営方針の違いなどから今年6月に提携を解消。エアアジアはANAに株式を売却、経営撤退を決めた。

しかし、フェルナンデス氏は「日本の航空運賃はまだ高く、真の格安航空はない。日本の市場は巨大で再参入できれば成功のチャンスをつかめる」と説明。「できるだけ早く日本でビジネスを始めたい」と再進出に意欲を示した。

その際、別の航空会社との新たな合併の可能性について「船頭が2人では問題の種になる」と指摘。単独運営にこだわる考えを示した。新たな拠点空港については「(都心から離れた)成田空港起点での運航は絶対にしない」と明言し

た。

ANA側は、エアアジア・ジャパンの利用が伸びなかった理由として、エアアジア仕様のインターネットによる航空券販売システムなどを挙げたが、フェルナンデス氏は「システムは問題ない」と反論。「間違ったコスト構造、間違った路線選択、間違った人が経営したことが原因だ」とANA側を暗に批判した。

さらに、フェルナンデス氏は「合併開始当時、ANAは我々の企業カルチャーを学びたいと言っていた。だが40年もANAで働いた人間が帽子だけ変えてみても本質はなかなか変わらない」とも語った。

(朝日新聞)8/24

[http://digital.asahi.com/articles/TKY201308240018.html?ref=comkiji\\_txt\\_end\\_kjid\\_TKY201308240018 \(->](http://digital.asahi.com/articles/TKY201308240018.html?ref=comkiji_txt_end_kjid_TKY201308240018)

[http://digital.asahi.com/articles/TKY201308240018.html?ref=comkiji\\_txt\\_end\\_kjid\\_TKY201308240018\)](http://digital.asahi.com/articles/TKY201308240018.html?ref=comkiji_txt_end_kjid_TKY201308240018)